

市民講座

# 地域における性教育 ～子どもへの性被害の現状をふまえて

最初の対応が  
その後の回復を決める

## 講演① 子どもへの性被害

田口 奈緒（県立尼崎総合医療センター産婦人科）

## 講演② もしも性被害を打ち明けられたら

仲 真紀子（立命館大学総合心理学部 教授）

日時：2019年4月13日（土） 13:00-17:00

場所：豊岡市民プラザ ほっとステージ

〒668-0031 豊岡市大手町 4-5 アイティ 7F 裏面地図参照

対象：医療・学校関係者、行政担当者、一般市民 250名

入場：無料（事前の申し込みは必要ありません）

2017年7月に刑法が110年ぶりに改正され、とくに子どもへの性暴力に関心が高まっています。内閣府の調査(2018年3月公表)では、性被害時期について18歳未満と答えた人が26.8%、うち15歳以下が21.3%を占めています。子どもの場合は被害の出来事の意味もわからず、誰にも相談できないという現実があります。子どもが性暴力や虐待に遭ったときに“助けて”とSOSを出せるためには、周囲の大人が正しい知識と対処方法を身につけていることが必要です。本講座は、医療、学校、保護者、行政など子どもを見守る立場の方々を対象に、子どもたちの性をめぐる現状と、緊急対応を含む適切な対応について学んでいただけるような内容となっています。

**講演①「子どもへの性被害」 13:20-14:30**

田口 奈緒 (県立尼崎総合医療センター産婦人科)

**講演②「もしも性被害を打ち明けられたら」 14:40-15:40**

仲 真紀子 (立命館大学総合心理学部 教授)

【主催】 兵庫県立尼崎総合医療センター

2019年度戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)

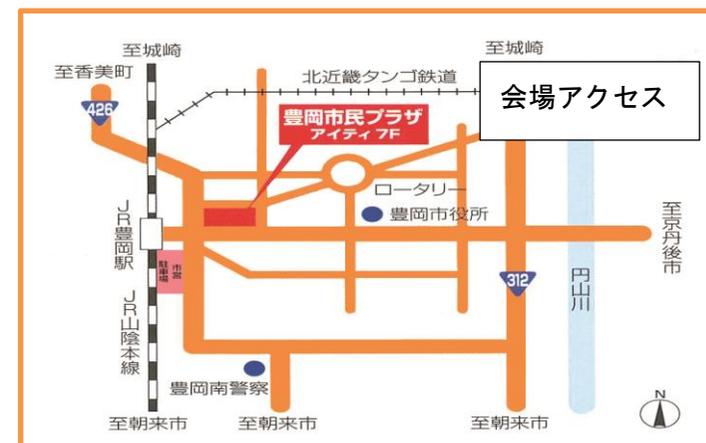
「トラウマへの気づきを高める“人-地域-社会”によるケアシステムの構築」プロジェクト

【共催】 豊岡市医師会、公立豊岡病院

【後援】 県産科婦人科学会、県小児科医会、県看護協会、豊岡市教育委員会、朝来市教育委員会、養父市教育委員会、新温泉町教育委員会、香美町教育委員会、県臨床心理士会、豊岡市民生委員児童委員連合会、県社会福祉士会、豊岡こども家庭センター、但馬県民局、県助産師会、県精神保健福祉士協会、県弁護士会

協力: NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうご

\*日本産科婦人科学会研修会 10 単位、日本産婦人科医会研修シール、日本専門医機構(産婦人科領域講習) 2 単位、日医生涯教育参加単位を予定しております。当日は e 医学会カードをご持参ください。



【お問い合わせ先】 県立尼崎総合医療センター産婦人科 田口

TEL06-6480-7000(#3830) FAX06-6480-7001

「公私をつなぐバーチャル・ワンストップ支援センター」グループ事務局 福岡

TEL/FAX06-6480-1140 Email: webg.onestop.tic2017.2020@gmail.com